

進路だより

決める力・見る 聞く 感じる力・伝える力
 つながる力・やる気 元気
 発行日：第1号 令和7年6月17日

進路だよりは、進路支援全般にかかわる情報提供や各学部段階のニーズに応じた具体的な取組などの発信を目的に、年3回の発行を予定しております。児童生徒の皆さんと保護者の方が将来の進路選択や社会参加を考える際の参考にしていただきたいです。

学校を卒業し、一人一人が目指す自立と社会参加をしていくためには、小学部段階からの積み重ねが大切です。小学部段階では基本的な生活習慣の確立や、生活リズムを整え身の回りのことを自分で行おうとする態度、支援を受け入れる協力的な態度を身に付けられるようにしましょう。中学部段階では学習経験の広がりや深まりを大切に、地域資源の活用をしたり、好きなことを増やしたりできるようにしましょう。高等部ではいよいよ卒業後の社会生活に向けて生徒と保護者が進路先を主体的に決定していきます。学校ではこれまで小中で培ってきた力を更に高め、それぞれの持つ可能性を更に広げ、これまでの経験と学びが卒業後の生活に活かせるよう取り組んでいきます。心が揺れ動く時期でもありますので、活動の場だけでなく、心の居場所やお子様のよい理解者を増やしていけるよう、関係機関とのネットワーク構築を進めていきましょう。卒業後、生徒一人一人が豊かに生活していけるよう進路支援に取り組んでまいります。今年度もどうぞよろしくお願い致します。

令和7年度 進路支援部 8名 よろしくお祈りします

【進路支援部長】

日光



【小学部】

千葉



【中学部】

田中



佐藤



大釜



【高等部】

後藤



中條



【訪問教育学級】

清水

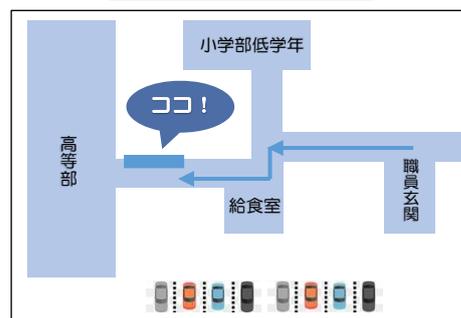


今年度も、引き続き、全体を日光が担当します。なんでもご相談ください！

進路情報コーナーのご案内

高等部校舎に入の手前の1階廊下に、進路情報コーナーがあることをご存知ですか？過去10年間の卒業生が通っている事業所の一覧やパンフレット（自由にお持ち帰りいただけます）、事業所マップ、進路だよりなどを掲示しています。小学部、中学部の保護者のみなさまはこれまで目にしたことがないコーナーかもしれませんが、来校時に是非足を運んで進路情報に触れてみてください。尚、その廊下を少し進んだ先の高等部職員室には進路指導部長の日光がおりますので、確認したいことなどがありましたらお気軽にお声がけください。

進路コーナーの場所



新しい情報には「NEW」のマークがついています

事業所マップ



事業所のある場所に付箋が貼ってあります

R6 年度卒業生の進路先



進路先	進路先地区	サービス種
笑夢	札幌市中央区	生活介護
〇・むすび（おむすび）	札幌市南区	生活介護
each（イーチ）	札幌市南区	生活介護
びいこねくと	札幌市南区	生活介護
ソーシャルサロンセラヴィ	札幌市南区	生活介護
さくらスマイル	札幌市西区	生活介護
TOISIS 山の手	札幌市西区	生活介護
ウッドベル	札幌市豊平区	生活介護
DREAM	札幌市豊平区	生活介護
未来さぼーと白石	札幌市白石区	生活介護
愛ちゃん家新はっさむ	札幌市手稲区	生活介護
札幌すぎな園萌	札幌市清田区	生活介護
北広島コラボ（ミルト）	北広島市	生活介護
みなみ	北広島市	生活介護
療養通所介護センターしらかば	苫小牧市	生活介護
みどりの里	小樽市	療養介護（入所）

昨年度の卒業生の進路先です。この4月から社会人としての新しい生活を頑張っています。進路というと「高等部になってから」という印象を持たれるかもしれませんが、小学部入学と同時に進路に向けての教育は始まっています。各学部で必要な力を、授業や日常生活の中で身につけていきます。難しいことではなく「手伝い」「協力」「着替え」「整理整頓」「あいさつ」「余暇」「泊学習」「買い物」等すべてが進路につながっています。学校卒業後の社会生活をイメージし日々の生活の積み重ねを大切にしながら希望進路に向けて共に取り組んでいきましょう。

ヒントがあるかも？

進路に関わるおすすめ本

発達に気になる子の「ステキ」を伸ばすかわり方

加藤潔 著／明石書店



子どもの「ステキ」を見つける優しいヒントが、ここにあります。子育てをしていると他の子と比べてしまったり、自己嫌悪になったり、もっとこの子の良いところを伸ばしてあげたいのにどうすればいいんだろう？と日々我が子を想って悩むことがあると思います。そんな悩みにそっと寄り添って背中を押してくれるのがこの本です。本の中では実際に「今日からできること」を教えてください。たとえば、「指示は一度に一つだけ」「褒めるときは去り際にさっと」どれも思わず「それならできそう」と感じる小さな工夫ばかりです。「我が子の困った」が、見方を変えると「この子らしさ」に変わっていく。うまくいかない自分に苦しんでいる子どもたち、褒められたいと願っている子どもたちにかける言葉がポジティブなものになるように、何度も読みたい1冊です。

障害のある子が将来にわたって受けられるサービスのすべて

渡部 伸 著／自由国民社



幼少期から学校卒業、そして就職や親なきあとまで、子どもの成長に合わせてどんな支援、制度があるのかわかりやすくまとめられた本です。たとえば
 ・どのようにして子どもに合った学校を選ぶのか
 ・20歳になったときの障害年金の受け方は
 ・親なきあと我が子を誰に託そう…
 そんな疑問にわかりやすく答えてくれる内容です。読むと少し不安が軽くなり「いまでできること」が見えてきます。

進路に関わるワードを解説！ 進路ワード

「卒業支援」

本校では、卒業後の進路先への定着を図るため、関係機関と連携しながら卒業後3年を目途に、次のような「卒業支援」を行います。

定着支援

卒業生の進路先等を訪問し、利用や支援の状況を見学・確認するとともに、本人や事業所職員の相談に応じ定着を支援します。

相談支援

卒業生本人や保護者、進路先の事業所、相談支援事業所等からの相談に対応します。

躍動の会（本校高等部卒業生の会）

卒業後の生徒の現況と動向の把握、進路情報の提供と交換を目的に、定期総会、交流会を行ったり会報「SPA通信」を発行したりしています。

関係機関との連携

相談支援事業所や市（区）役所等の行政機関等と連携して生徒の現況と動向について情報を共有し、モニタリングや他のサービス利用の提案・調整等を行います。